

認定こども園 星の子保育園
令和7年度 施設関係者評価 報告書

1. 園の教育目標

＜教育・保育方針＞

- ・子ども一人ひとりを大切にせる教育・保育
- ・子どもたちのより良い今と未来につながる生きる力を育む

＜具体的な目標＞

- ・主体的・意欲的に行動できる力を身に付ける
- ・遊びや活動を通して総合的な生きる力を育む
- ・社会の一員として望ましい資質（社会性）を育む
- ・基本的生活習慣の自立を育む

2. 施設関係者評価委員会の総評

令和8年2月5日に評価委員6名が同席の上公開保育を実施するとともに、今年度の本園における目標と取り組み状況の聞き取りを含めて施設関係者評価を行った。

本園は、「こどもの今と未来を幸せに」の理念のもと、子ども一人ひとりを大切にしながら、生きる力を育む保育が行われていると感じました。園庭では、水や土、木などの自然物を活かした環境の中で、子どもたちが五感を使いながら主体的に遊ぶ姿が見られ、自然との関わりを通して豊かな経験が積み重ねられている様子がうかがえました。

室内環境においても、自然素材の玩具や工夫された環境構成が整えられており、子どもが自ら遊びを選び、落ち着いて過ごせる環境が大切にされています。子どもたちはそれぞれの興味や関心に応じて遊びを広げながら、自分らしく過ごしている様子が見受けられました。

また、制作物やラーニングストーリーの掲示からは、子どもたちの日々の学びや成長のプロセスを大切にし、その姿を保護者と丁寧に共有しようとする園の姿勢が伝わってきました。こうした取り組みは、子どもの育ちを保護者とともに見守り支えていくうえで大きな意味を持つものと感じられます。今後も理念を大切にしながら、子どもの主体性と育ちを支える保育のさらなる充実が期待されます。